

会 議 録

| | |
|---------------|---|
| 名 称 | 北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 |
| 議 題 | 戸畑地区 |
| 開 催 日 | 平成28年12月13日（火） |
| 開催場所 | 北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム |
| 出席者 | <p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一 （九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授）</p> <p>牛房 義明 （北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授）</p> <p>東 恭子 （第10期 北九州ミズ21委員会 委員）</p> <p>横田きみよ （コンセプトピディア 代表）</p> <p>事後評価担当（事業課）</p> <p>教育委員会 総務部 企画調整課</p> <p>検討会事務局</p> <p>建築都市局 まちづくり推進室 まちづくり推進課</p> |
| 議事内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 座長、構成員の紹介 3 事後評価制度の概要説明 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該地区について説明 <p>「まちづくりの経緯説明」「事後評価手続き等」「今後のまちづくり」について</p> (2) 事後評価手続き等にかかる検討 (3) 今後のまちづくりについて検討 5 事後評価検討会後のスケジュール 6 報告事項 7 閉会の挨拶 |
| 構成員の 主なご意見 | <p>○事業課より、当該地区のまちづくりの経緯、事後評価手続き等、今後のまちづくりについて一括説明</p> <p>○事後評価手続き等にかかる検討 （成果の評価について）</p> <p>牛房 構成員</p> <p>指標1について従前値0とあるが、類似の講座等はなかったか。また、講座の数以外に参加者等の別の指標となる数値があれば追加したら良いのではないか。</p> <p>事業課</p> <p>基幹事業の地域交流スペースがなかったので0件となっている。計画当時提案事業だった図書館にその後事業が統合されているので、図書館を基準とした場合は毎年300件前後の講座がある。</p> |

寺町 座長

今から指標を変えることはできないか。参考指標としてその数値を追加できるようであれば、追加してはどうか。

事務局

指標そのものの変更は出来ないが、その他の数値指標として追加することは出来る。

事業課

追加について検討する。

寺町 座長

アンケートの回答者属性が分かれば、今後役立つのではないか。

事業課

そのように改善したい。

寺町 座長

指標4について、9月1ヶ月の利用者から評価値を算出しているが、可能であれば9～10月の利用者数から評価値を算出した方が良いのではないか。来年フォローアップ報告の時に利用者が落ち込んでしまう可能性があるのではないか。

事業課

資料作成時には9月の利用者数までしか取れていなかったが、その後も同程度の利用がされている。今後も追跡調査を続けたい。

牛房 構成員

目標3について、体育館を作って市民の健康増進に寄与するということが、可能であれば、体育館を利用することによってどれだけ健康状態がよくなったか、モニター等を使って成果を測ることができないか。予算の問題もあるとは思いますがやっていただけたらありがたい。

寺町 座長

非常に面白い指摘だったので、活用していただきたい。

(効果発現要因の整理について)

寺町 座長

添付様式4-②にある今後の活用について具体的に何のことか。

事業課

事後調査のアンケートの中で出てきた要望について、ソフトの面に対応できる声を拾って改善していくということである。

(事後評価原案の公表について)

横田 構成員

計画の段階から市民の方が参加しているので、その方たちからの声を頂きに試みてはどうか。

事業課

今回計画の関係者に事後評価について意見を頂くようお願いし、提出してもらっている。

横田 構成員

それで5件というのは意見として少ない。

事業課

言葉ではおっしゃる方はたくさんいたが、お名前、連絡先等をご記入いただく「意見」として出すとなると尻込みしてしまう方がほとんどだった。そのため、市民の意見として上げられなかったご意見については、今後のための声として拾い、事業に活かすようにしている。

横田 構成員

せっかく実施していることをこの評価に反映できないというのはもったいないので、正式的な意見として載せられないのであれば、添付として載せられないか。

寺町 座長

正式にはあげられなくても、せっかく意見を集める努力をしたのであれば、可能であればそれをあげてPRしても良いのではないか。

事業課

検討して可能であれば記載する。

牛房 構成員

事務局で他の自治体がどのくらい意見が来ているのか分かれば相対的に意見の数が多いいのか少ないのか分かるのではないか。相対的に少ないのであれば目標数を設置してはどうか。性別、年齢までとし、匿名とすれば意見をもらいやすいのではないか。

事務局

他の自治体を参考にしながら、改善できることは改善したい。

寺町 座長

来年度も事後評価報告があると思うので、ぜひ前向きに検討していただきたい。

横田 構成員

HPにアップしても分からないので、SNSにリンクさせて呼び込むような方法もあるのではないか。北九州市役所ではインスタグラムなども活発に使われている

ので、可能なのではないか。

寺町 座長

コストもかからずに実行できる仕組みなので、検討する価値は十分にある。

事務局

参考にさせていただく。

**○今後のまちづくりについて検討
(今後のまちづくり方策について)**

寺町 座長

添付様式5-③のA欄、「地域の活性化」において、「スポーツ施設の利用者の増加促進」とあるが、現状でも利用率が高く待たされたという声を聞く。抽象的に記載されているが、現状から増加しなければいけない具体的な課題等があるのか。

事業課

利用者は多くいるが、大規模大会誘致を目指しており、スポーツの盛んな都市であることをアピールしたいと考えている。

寺町 座長

市民の意見にもあったが、来年の夏休みの利用者増加に対する対策はあるか。

事業課

屋内児童プール利用者増加等で発生する問題に対する課題について、これから対策を考えて対応したい。

東 構成員

曜日、時間帯別に利用者の数値は把握しているか。

事業課

各施設別の利用者は把握している。利用希望が重なった場合は指定管理者が調整している。

東 構成員

民間施設ではないので、利用者の少ない時間帯は利用料金を安くする、利用時間を長くするという事は簡単に出来ないと思うが、夏休みなどには利用希望が重ならないような工夫も必要になると思われる。

事業課

希望の多い時間帯はゆずりあって使ってもらっている。

横田 構成員

戸畑図書館というより北九州市の図書館のホームページ全般についてだが、内容に魅力がなく、図書館に訪れるきっかけにつながっていない。根本的に改善すると

良さがもっと伝わり、違った視点を持った人なども来てくれるようになるのではないか。

事業課

今後の改善点としたい。

横田 構成員

添付様式 5-③について、説明してもらった内容が分かりやすくとても良かった。その内容を報告書に記載してはどうか。

事業課

内容を記載する。

牛房 構成員

添付様式 5-②について、現地調査時に図書館の駐車場が満車で待っている方がいたので、事業によって発生した新たな課題に加えてはどうか。

集約された後の施設の使い方や空き地について、戸畑地区に調和するような活用方法も新たな課題となるのではないか。

大規模避難所が出来た後のマニュアルやガイドラインの整備、周知についても課題に加えられるのではないか。

事業課

図書館の駐車場については、予想以上に利用者数が多く、21 台から 38 台に駐車場を増加しているものの残念ながら現状が追いついていない。長時間駐車の見回りなどを行いながら今後改善を図りたい。

既存施設の利用・廃止については、都市マネジメント政策室とともに検討していく。大規模予定避難所は地域防災計画の中に災害時の対応について書かれている。危機管理室や戸畑区役所を通じて大規模予定避難所の周知を図りたい。

寺町 座長

それでは、色々なご意見を頂きましたが、戸畑地区の事後評価手続きについて、適切に実行されたということでもよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

次に、今後のまちづくり方策について、妥当であると認めてよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして戸畑地区の議事を終了致します。

| | |
|--|-------------------|
| | <p>事業課</p> |
|--|-------------------|

ありがとうございました。

会 議 録

| | |
|---------------|---|
| 名 称 | 北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 |
| 議 題 | 八幡地区（第2期） |
| 開 催 日 | 平成28年12月13日（火） |
| 開催場所 | 北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム |
| 出席者 | <p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一（九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授）</p> <p>牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授）</p> <p>東 恭子（第10期 北九州ミズ21委員会 委員）</p> <p>横田きみよ（コンセプトピディア 代表）</p> <p>事後評価担当（事業課）</p> <p>建設局 道路部 道路計画課</p> <p>検討会事務局</p> <p>建築都市局 まちづくり推進室 まちづくり推進課</p> |
| 議事内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 座長、構成員の紹介 3 事後評価制度の概要説明 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該地区について説明 「まちづくりの経緯説明」「事後評価手続き等」「今後のまちづくり」について (2) 事後評価手続き等にかかる検討 (3) 今後のまちづくりについて検討 5 事後評価検討会後のスケジュール 6 報告事項 7 閉会の挨拶 |
| 構成員の 主なご意見 | <p>○事業課より、当該地区のまちづくりの経緯、事後評価手続き等、今後のまちづくりについて一括説明</p> <p>○事後評価手続き等にかかる検討 （成果の評価について）</p> <p>横田 構成員</p> <p>指標3の「市民参加の取組み数」について、環境ミュージアムは積極的にワークショップを開催されている印象があるので、参加人数の従前値が0は違和感がある。</p> <p>事業課</p> <p>計画策定時の平成23年度にも環境ミュージアムではワークショップが開催されており、約500人の参加を得ていた。そこで、計画期間中の5年間も継続的な取組</p> |

を実施し、毎年約 500 人の参加を得て、延べ 2, 500 人の参加者数を目標値とした。目標値設定の考え方についての記述を検討したい。

牛房 構成員

指標 1 の「東田地区の緑被率」について、中央町などは緑被率を検討する必要はないのか。

事業課

東田地区は、工場跡地の土地利用転換を図るという特性を捉えて、そこでの緑被率を高めるということでエリアを設定した。したがって、既成市街地でも公園の整備や道路整備により街路樹を植えるなどの取組をしているが、指標のエリアとしては設定していない。

東 構成員

指標 2 の「観光・文化施設の来館者数」について、それぞれの施設の従前値と評価値を教えてください。

事業課

平成 23 年度の従前値は、いのちのたび博物館が約 38 万人、環境ミュージアムが約 11 万人、皿倉山ビジターセンターが約 2 万人の合計約 51 万人であった。平成 27 年度の評価値は、いのちのたび博物館が約 47 万人、環境ミュージアムが約 13 万人、皿倉山ビジターセンターが約 3 万人の合計約 63 万人で、3 施設とも評価値が従前値を上回っている。

牛房 構成員

指標 2 の「観光・文化施設の来館者数」について、地区内にある北九州イノベーションギャラリーは、計測しなくて良いのか。

事業課

計画で実施する事業との関係性から事業効果の期待できる 3 施設を対象とした。指標の対象施設には入っていないが、事業実施による波及効果があったか、来館者数の変化を確認したい。

牛房 構成員

提案事業の西本町児童館は、事業の前後で利用者数が変化したのか。指標 2 もしくは、指標 3 に記述してはどうか。

事業課

本事業は市民に身近な施設ということで、指標 3 に関連性をもたせている。利用者数の変化があったかを確認し、事業効果の記述を検討したい。

(効果発現要因の整理について)

横田 構成員

指標 2 は、いのちのたび博物館のことしか記述されてない。指標 3 も環境ミュー

ジラムのことしか記述がない。それ以外の事業についても記述すべき。

事業課

定量的な指標に影響を与えなかったが、定性的なところで効果が見込める事業については、記述したい。

(事後評価原案の公表について)

牛房 構成員

事務局で他の自治体がどのくらい意見が来ているのか分かれば相対的に意見の数が多いいのか少ないのか分かるのではないかと。相対的に少ないのであれば目標数を設置してはどうか。性別、年齢までとし、匿名とすれば意見をもらいやすいのではないかと。

事務局

他の自治体を参考にしながら、改善できることは改善したい。

寺町 座長

来年度も事後評価報告があると思うので、ぜひ前向きに検討していただきたい。

横田 構成員

HPにアップしても分からないので、SNSにリンクさせて呼び込むような方法もあるのではないかと。北九州市役所ではインスタグラムなども活発に使われているので、可能なのではないかと。

寺町 座長

コストもかからずに実行できる仕組みなので、検討する価値は十分にある。

事務局

参考にさせていただく。

寺町 座長

中央町商店街は計画のエリア内か。商店街の活性化・利便施設の充実、交通アクセスに関する市民意見に対する市の考え方は、もう少し丁寧な説明が望ましいが、これ以上書けないのであれば構わない。

事業課

計画のエリアには入っている。市として、商店街に対する取り組みは行っているが、今回の整備計画に対象となる事業は無い。

寺町 座長

公園の管理を地元の方と協働で行う取り組みはしてないのか。

事業課

近隣住民の方、近くの商業施設の方の協力が得られれば非常に助かるが、公園周

辺で住まわれている方はまだ少ない状況にある。公園全体を任せるのは厳しいが、公園の一部、例えば遊具のあるエリアについてお願いすることは、検討の余地がある。

寺町 座長

日頃から利用される方を対象にして活動を組んでも良い。

寺町 座長

目標値が低すぎないかという意見に対して、記述がない。

事業課

当初の目標値の考え方についての記述を検討する。

寺町 座長

周知発信が足りないという意見の「発進」の文字は、間違いではないか。

事業課

確認します。

東 構成員

近代化産業遺産PR事業に関する市民意見にもあるが、ウォーキングマップがどこに行ったらあるかの周知を、SNSを活用するなど試しても良いと思う。

歩行者系サインは、人工的に造られたまち、特別感のあるまちとして、非日常の雰囲気があるとするために、サインにもデザイン性や統一感を持たすと良いと思う。

芝生広場と博物館の間に横断歩道がないことは、市だけで解決できる問題ではないので難しいが、気になっていた。

寺町 座長

今後の参考になると思うので、取り入れて積極的に解決策を立ててほしい。

**○今後のまちづくりについて検討
(今後のまちづくり方策について)**

寺町 座長

東田地区の緑被率の向上について、緑被率を改善するには民有地を改善する必要があると思うが、記述がない。問題点と違うところでコメントされているように感じる。

事業課

民有地については、緑化の助成に取り組んできたが、利用がうまく進まなかった。オープンエコミュージアムは、公共用地も民有地も含めて地区全体での緑を増やす取り組みであるので、引き続き、民有地での働きかけに努めていきたい。

寺町 座長

地区で協定を結んで緑化率を上げることがあるので、通常のスキームをうまく使っても良いと思う。

横田 構成員

商業施設の緑化は、利益の問題で難しいと思うが、働きかけはしていかないといけない。民間企業としての地域への貢献という視点での切り口、一般の市民の方が商業施設に関わる機会を作ること、お客様のファンづくりにもつながるという視点での切り口などのアプローチがあっても良いと思う。

環境ミュージアムやいのちのたび博物館のお客様の確保・発掘において、「オタク」や「歴女」など若い世代の女性を対象とした切り口もあると思う。

寺町 座長

参考になるキーワードがあったと思うので、活用してほしい。

横田 構成員

相乗効果、機能強化を考えると、各施設の連携は外せない視点である。いのちのたび博物館が世界的に注目されているので、利用しない手はない。そこでのほかの施設のPRがどれくらいされているか、気になる。もっと他の施設を巻き込むことが、もう少しあっても良い、今後の課題だと思う。

事業課

いのちのたび博物館、環境ミュージアム、北九州イノベーションギャラリー（KIGS）の3館の連携は、課題であり、取り組むべきと思っている。現在、夏休みに教育プログラムと一緒にやる機会を設けている。H26年度の秋には、KIGSと一緒に特別展を共同開催する機会を設けた。PR、集客では、イオンも含めた4施設でスタンプラリーやイオンに3館共同でPRブースを出すなど、少しずつ取り組みをスタートしているところである。インバウンドでは、まだ弱いところもあるが、環境ミュージアムとは、環境学習で修学旅行や社会科見学の呼び込みに共同で売り込みをしている。KIGSも子ども向けの取り組みを増やしている。今後も取り組んでいきたい。

寺町 座長

たくさん利用すればするほど、お得になるような仕組みを入れても良い。来館するたびに博物館の何かのコレクションが集まるとか、イオンや交通系のICカードとコラボするなど、いろんな方法があると思う。

○その他**牛房 構成員**

八幡地区の今後の課題として、商店街の活性化がある。これまでの都市再生整備計画では東田地区に力を入れているが、前からある地域にもいろいろと問題がある。中央町もこれから人がどんどん減っていくという課題もある。東田地区と中央

町が国道3号で分断されている。そこが活性化されれば、地域間、コミュニティ間の交流も盛んになるし、商店街の活性化もされると思う。今後は、行政としても考えて頂けると良いと思う。

寺町 座長

色々なご意見を頂きましたが、八幡地区の事後評価手続きは適切に実行されたと認めてよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

次に、今後のまちづくり方策について妥当であると認めてよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

以上をもちまして八幡地区の議事を終了いたします。

事業課

ありがとうございました。

会 議 録

| | |
|-----------|--|
| 名 称 | 北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 |
| 議 題 | フォローアップ報告（H27年度完了地区） |
| 開催日時 | 平成28年12月13日（火） |
| 開催場所 | 北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム |
| 出席者 | <p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一（九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授） 牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授） 東 恭子（第10期 北九州ミズ21委員会 委員） 横田きみよ（コンセプトピディア 代表）</p> <p>フォローアップ担当課 建築都市局 折尾総合整備事務所 計画課（折尾地区） 検討会事務局 建築都市局 まちづくり推進室 まちづくり推進課</p> |
| フォローアップ報告 | <p>○フォローアップ報告について （事務局及び担当課より説明）</p> <p>昨年に事後評価を実施した地区のフォローアップについて、報告させていただきます。</p> <p>フォローアップにつきましては、事後評価の際に、推計値で評価を行っていたものについて、実測値が確定した時点で、確定値に置き換え、事後評価の確認を行うものです。</p> <p>今回の報告対象は、平成27年度完了の折尾地区（第2期）の1地区でございます。</p> <p>それでは、報告に移ります。</p> <p>担当事業課から、A3横の概要（参考資料）で、指標の状況を説明させていただきます、あわせて事後評価以降の取り組みについて紹介させていただきます。</p> <p>それでは、折尾地区担当の折尾総合整備事務所からご説明をお願いします。</p> <p>【折尾地区】</p> <p>折尾総合整備事務所です。昨年度の事後評価の際には、委員の皆様には貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今日はフォローアップについて、ご報告させていただきます。</p> <p>お配りしている資料のうち、A3の概要資料をご覧ください。</p> <p>折尾地区では、4つの目標に対し、4つの指標を立てて、事後評価を行いました。内、指標2「街なかにおける居住人口」は目標値に至らなかったため、その他指標として「1km圏内における居住人口」を追加いたしました。</p> <p>これらの指標の内、2つの指標とその他指標で、推計値を使っていたため、今回、確定値に置き換えて、評価の確認を行ったものです。</p> |

指標3「街なかにおける居住人口」は、目標値 24,950 人に対し、評価時点の推計値 24,728 人が、確定値 24,630 人となりました。

関連するその他指標「折尾駅 1km 圏における居住人口」は、目標評価時点の推計値 15,515 人が、確定値 15,597 人になりました。

指標4「イベント参加者数」は、目標値 2,950 人に対し、評価時点の推計値 4,784 人が、確定値 5,140 人となりました。

指標3「街なかにおける居住人口」では、確定値が推計値を若干下回っておりますが、その他指標「折尾駅 1km 圏における居住人口」は推計値を上回っております。

駅から少し離れた県営住宅等で住人の高齢化が進んだこと等による1世帯人員の減少などが原因と考えております。駅周辺 1km では人口が増加しており、引き続き折尾地区総合整備事業を着実に進捗し、安全・安心で快適な魅力ある都市空間の形成を図り、街なか居住を推進してまいりたいと考えております。

続いて、「事後評価時点以降の取組」の資料をご覧ください。

今後のまちづくり方策「住環境及び防災上の課題の改善」、「魅力ある都市空間の形成」等について、土地区画整理事業を進めています。1工区（堀川町地区）では、宅地整備工事が進捗し、住居の建設も始まりました。

「駅へのアクセシビリティ及び周辺交通環境の改善」について、連続立体交差事業、街路事業、道路事業を進めております。

連続立体交差事業は高架工事が進捗し、平成 29 年 1 月には鹿児島本線の 2 次仮線切替を行い、一部新しいホームが供用開始されます。

街路事業、道路事業は、用地買収を進めており、駅周辺の路線では、H28 年度から工事に着手しました。

「魅力ある都市空間の形成」、「街なか居住の推進」について、金山川の遊歩道整備を進めています。痛んでいたインターロッキング舗装を歩きやすいゴムチップ舗装に改修しました。引き続きベンチ等の環境整備も実施する予定です。

「住民との協働によるまちづくりの推進」について、11 月に地元まちづくり団体が、駅周辺で新たなイベントを開催しました。オリオンピックというイベントで地域の大学等の学生も参加し、にぎわいづくりに貢献しました。

また、12 月 23 日には鉄道が走る前の高架を地域住民に歩いていただく高架ウォークを実施する予定です。

今後も地域住民、地元のまちづくり団体と協働しながら、折尾地区総合整備事業を着実に推進し、取り組みを継続していきたいと考えております。

○フォローアップ報告に対する意見

【折尾地区について】

- ・「街路事業、道路事業の推進」の写真の赤い線と緑の線はということなのか。
⇒・赤い線の一団の土地の中に緑の線の事業用地が通っています。
- ・オリオンピックの参加人数はどれぐらいか。
⇒・実施したばかりでまだ確認できていませんが、大体の数は把握していると聞いています。
- ・オリオンピックは来年もする予定か。
⇒・好評だったので検討はしているようです。

構成員の
主なご意見

事務局

ありがとうございました。

今後の手続きについて説明します。

フォローアップ報告書は国土交通省に提出するとともに、本市の事後評価のホームページに掲載させていただくこととしております。以上で、ご報告を終わります。